

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSWニュース 9月号

2018年9月1日発行

事務局：大浜第一病院  
〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171  
FAX (098) 864 - 1874  
E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：鶴淵 太郎  
(沖縄協同病院)

## 研修参加報告

### 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 初任者研修報告書

沖縄協同病院 地域連携課 饒波 武之

沖縄協同病院地域連携課に今年の4月より配属になりました、饒波武之と申します。長年包括支援センター職員として従事しており、医療機関での経験がなく初めてづくしの環境の中、今回、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修会に参加させていただきました。今回は2回目から参加させていただきましたので、2回目以降のご報告をさせていただきます。

～2回目～

研修会2回目は、実践に必要な制度として、①生活保護について、②医療保険について、③介護保険についての制度の紹介、チームにおけるMSWの役割についてと充実した内容となっていました。

生活保護については、日本国憲法 25 条に記されている“国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する”という文言をはじめとする生活保護制度と生存権の確認、4つの原理と4つの原則、生活保護の8つの扶助を基礎内容として学びました。講話の中で、2014年の「生活困窮者自立支援法」の実施と改正生活保護法の内容として就労支援や給付の適正化に関する記載が追記された旨触れられていましたが、私自身、これまでの経験からも、要支援者と生活困窮・経済的な課題は切ってもきれない関係にある印象があります。特に多問題家族に置いては、親の年金で生活する子供や、そこから発生す

## CONTENTS

- 研修報告(県MSW協会初任者研修報告)・・・1～2
- 研修報告  
(第78回医療ソーシャルワーカー機関研修Ⅰ)・・・3
- 在宅医療・介護連携八重山圏域報告……………3～4
- 研修部報告(初任者研修実施報告)……………4
- 社会活動部報告(H30年度県民健康フェア)・・・5
- 自主勉強会報告(めだかの学校)……………5～6
- 自主勉強会報告(めだかの放課後)……………6～9
- 自主勉強会のお知らせ……………9～10
- 新入会員紹介……………10
- 理事会議事録……………11～13
- 編集後記……………13

る虐待等課題も多くみてきました。また、アルコール依存者を支援する機会も多くあると思いますが、アルコールの問題と経済的な課題、保護費の適正利用についても多くのジレンマがありました。講話の中では、基本的な内容とともに生活保護が必要な方の支援の方法についてもグループディスカッションをおこないましたが、支援者として、きちんとしたアセスメントをおこなう必要性とともに、改正生活保護法に謳われている内容についても改めて意識するととてもいい内容となりました。

～3回目～

研修会 3 回目は、①ソーシャルワークアセスメント、②記録について、③退院援助についでと、より実践的な講義内容となっていました。

アセスメントについては、2 回目の研修会でも重要性について感じた内容でありましたが再度アセスメントの重要性や退院援助までの流れを学びながら大切さを再認識させられました。アセスメントは、“現実の生活のなかでそれを発揮できるように環境を整えて、個人的な資源を最大限活用できることを目指す”こと、“ソーシャルワークの価値を根拠として「～すべきこと」「～しないこと」などの判断を律し、行動を導く指針”等ソーシャルワーク倫理も踏まえて、支援者としての基本的な視点と今後あるべき姿を学べたとてもよい機会となりました。

少子高齢化が続く社会環境の中で、より困難なケースを支援する機会が増えている印象があります。財政面の確保のため介護保険制度は昨年より大きく方向転換をし、医療制度も新たな局面に立たされています。私が担当する病棟でも独居で身寄りもない方も多く見受けられます。神輿型から肩車方へ。複雑化していく社会環境の中、包括ケアシステムづくりの重要性が大きく叫ばれている中、私たち支援者は制度を知り、そして適切に活用・紹介ができること、それと同時に制度上では解決できない内容をどのように解決するのかの視点が重要だと今回の講話を通して再認識させられました。

---

## 研修参加報告

### 第78回医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ 東京会場プログラム

平成 30 年 8 月 17 日

大浜第二病院 医療福祉課 謝敷 奈津子

---

H30 年 8 月 8 日から 12 日の 5 日間、公益社団法人日本医療社会福祉士会主催の「医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ in 東京会場」へ総勢 133 名の参加者の中で、沖縄県から 1 人参加させていただきました。全 19 項目、1 日 4～5 講義を通して丸 5 日間の研修でした。

医療ソーシャルワーカー 1 年目～3 年目未満までを対象とし、厚生労働行政の動向に始まり、MSW に必要な知識として、価値倫理・診療報酬・連携・家族支援・医学知識等の幅広い分野での講義を座学・ワーク形式で学ばせてもらいました。講義を行ってくれた講師の先生方は、協会理事のベテラン MSW から国立病院の医師等、普段滅多にお会いする事のできない方々からの貴重な講義を聞かせてもらうことが出来ました。

その中でも価値倫理の講義の中で、実際に業務として行っている行動が、倫理綱領や業務指針のどの項目に準じて行っているのかを常に意識しながら行動する事で、業務上「これって MSW の業務なの？」という疑問を解決へ導いたり、ジレンマ等で悩んだ際に立ち戻れる原点になるのだと改めて実感できました。さらに MSW は「患者様の最善の利益を追求する事」を倫理綱領で謳われていますが、「患者様の“要求”と“利益”がイコールとは限らない、目先の利益にとられない」事も重要であると改めて学ぶことが出来ました。

面接技法の中では、「誰にでも見せられる面接」をテーマに、実際に MSW 先輩方の模擬面接を見せていただきながら、共感の準備・ミラーリング・Yes セット・間の使い方、などを実際に目で見て感じ取る事が出来ました。普段他の SW の面談を拝見する機会がない分「百聞は一見にしかず」で、初任者の私達にとってはとても貴重な研修となりました。この研修を糧に日々の SW 業務に自信を持ちながら、患者様により良い支援が出来るように努めていきたいと感じました。

---

## 在宅医療・介護連携八重山圏域報告

### 石垣市の在宅医療・介護連携推進事業の取り組みについて

かりゆし病院 野原 育子

---

石垣市では地域包括支援センター(石垣市介護長寿課)を中心に取り組み、H28 年 5 月 20 日に制定された「石垣市在宅医療・介護連携推進協議実施要綱」に基づき、事業計画が立てられています。

平成 30 年度も在宅医療・介護連携推進協議会(年 2 回)、研修企画・普及啓発部会(年 2 回)、情報共有部会(年 2 回)、多職種研修会(年 3 回)が計画されています。私も協議会の委員(情報共有部会の委員兼務)として参加しています。

情報共有部会の具体的な取り組みとしては、H28 年度より入退院時情報共有ルール(「退院時情報提供書」)の検討を行いました。ルール運用後(入院時)では、①介護支援専門員が利用者の入院を把握する率が 75.2%→98.6%へ改善、②介護支援専門員が利用者の入院を把握し、病院へ情報提供書を提出する率が 67.7%→80.5%へと改善。また、ルール運用後(退院時)、①病院から介護支援専門員へ連絡率が 69%→93.1%へ改善、②病院から介護支援専門員へ情報提供書の提出率が 85.8%→90.9%へと改善、③退院時情報提供書・看護サマリーの活用率が 70.8%→87.5%へと改善した等<石垣市包括支援センター報告:H28.8.1~9.30 実態調査、H29.9.1~10.31 モニタリング調査>と一定の成果をあげることができ、地元の新聞にも取り上げられました。今後も適宜、見直しや修正を行い、切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築に向けて取り組んでいく予定です。

また、石垣市では在宅医療・介護の資源把握調査を実施し、医療・介護関係者向けの「在宅医療と介護マップ」を作成し配布、住民向けの「在宅医療と介護リスト・ダイジェスト版」を作成し全世帯へ配布しています。

## 研修部報告

### 平成30年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 初任者研修実施報告 北中城若松病院 香村 真範

7月29日(日)、大浜第一病院にて第2回初任者研修会が開催されましたので報告いたします。

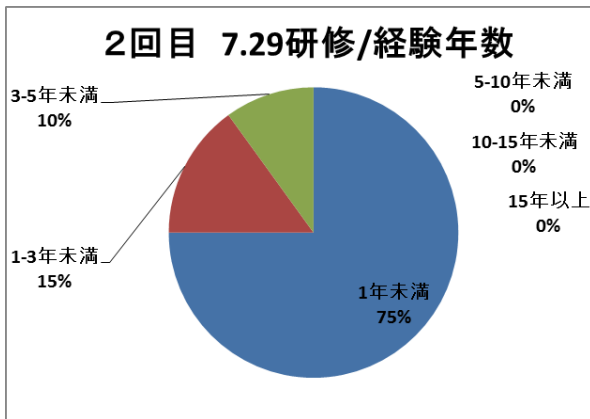
内容) \* 各講義90分

「生活保護」、「医療保険」、「介護保険」、「チーム医療におけるMSWの役割」 計4コマ

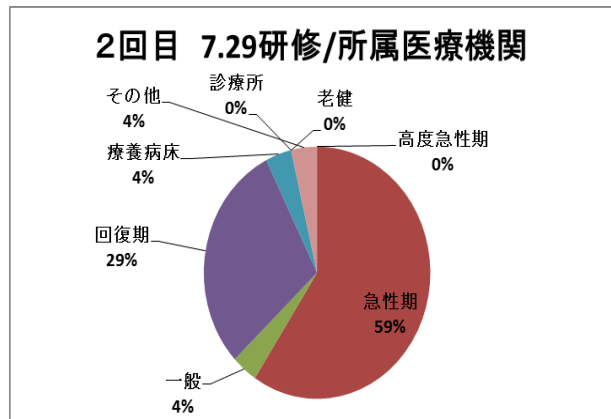
参加者数)

22名 (内訳 男性8名 女性14名)

(経年数)

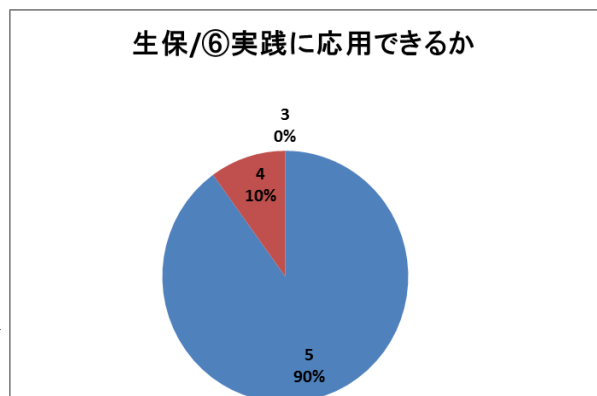
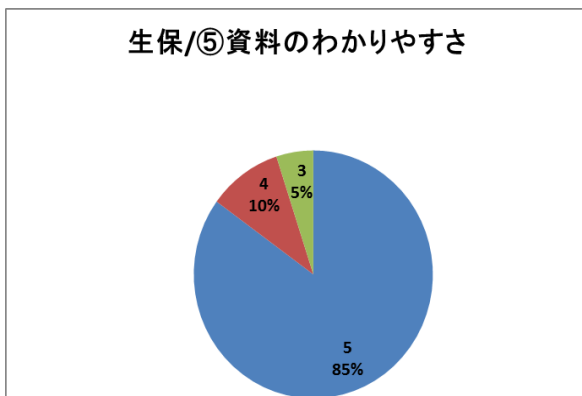
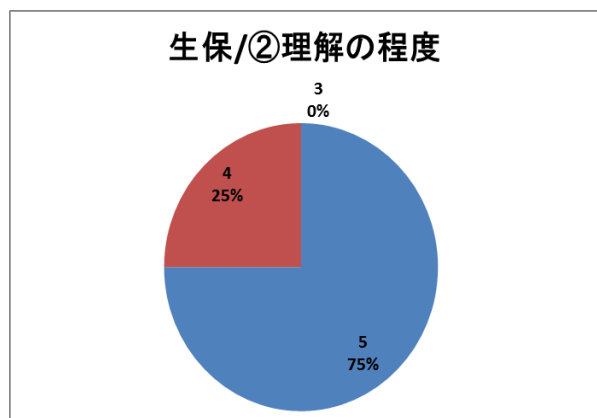
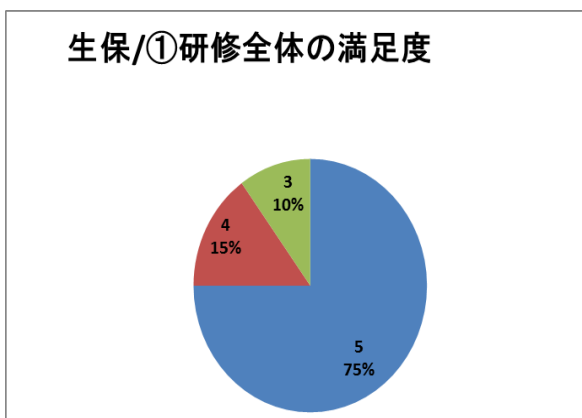


(施設別)

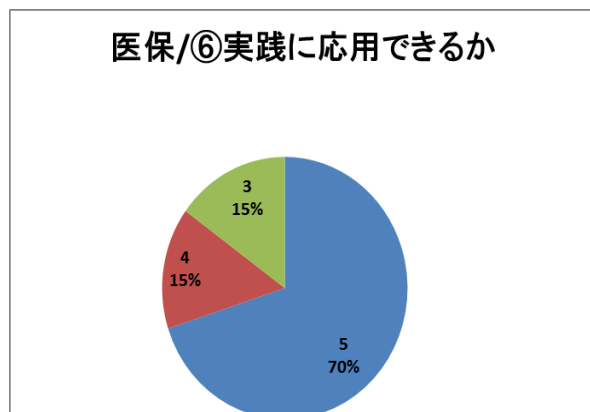
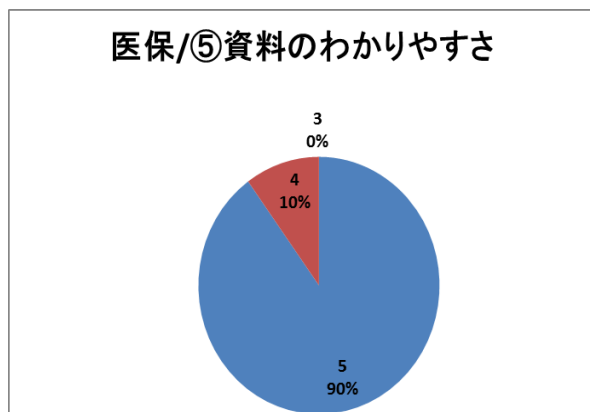
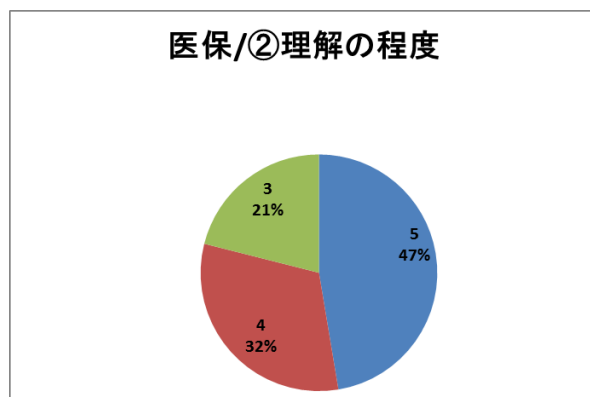
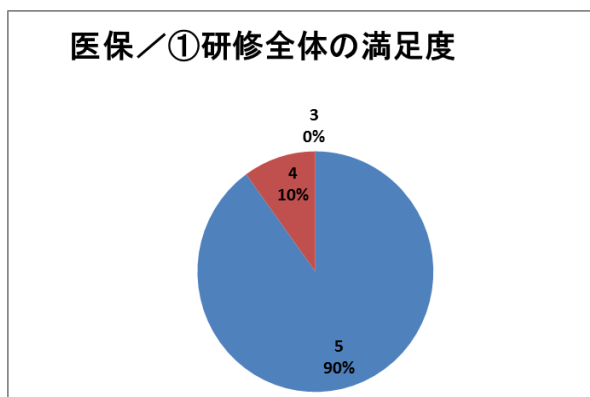


各講義のアンケートより。

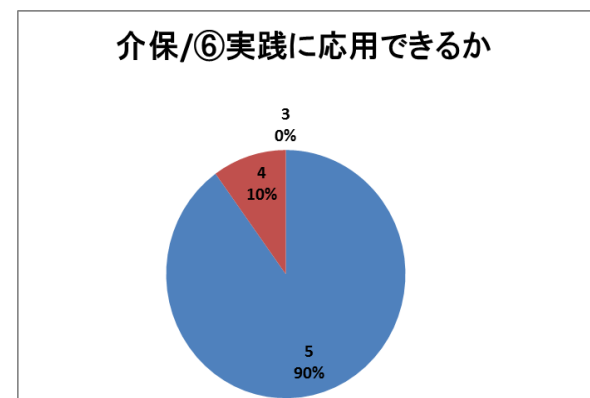
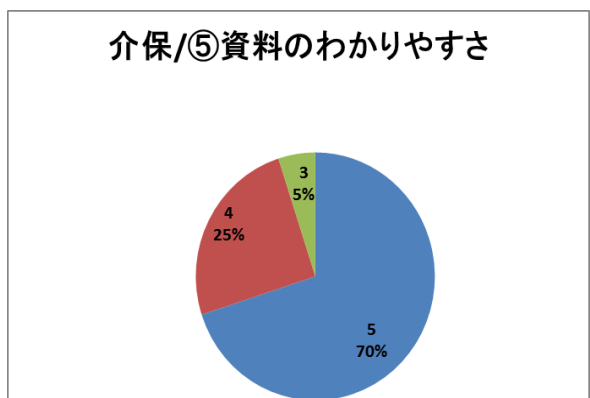
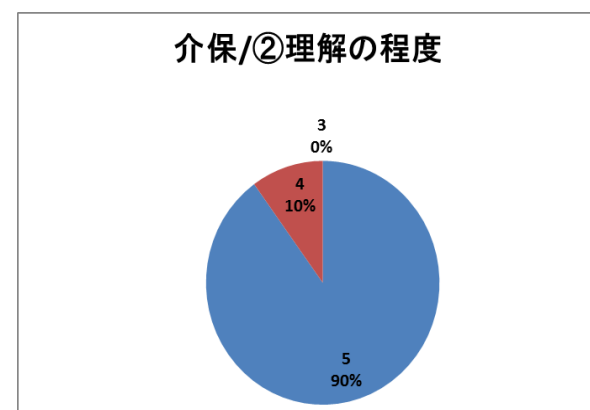
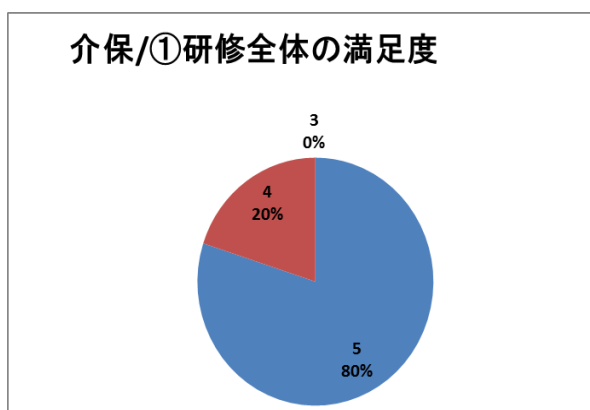
(生活保護) \* 5満足 ⇔ 1不満



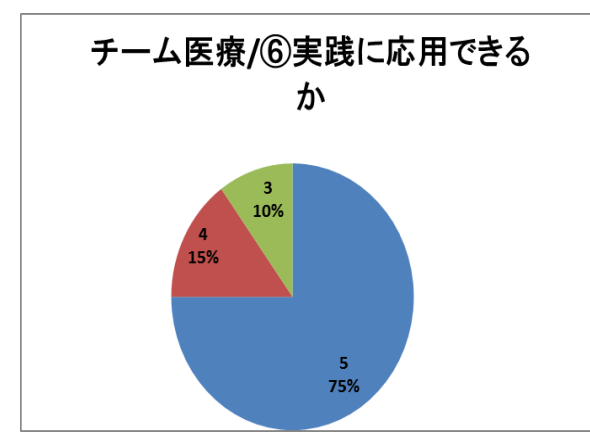
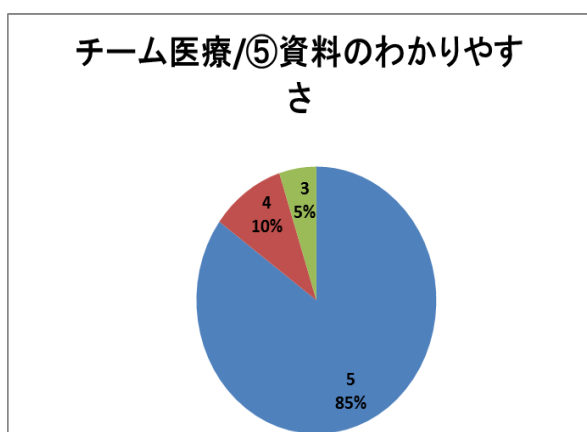
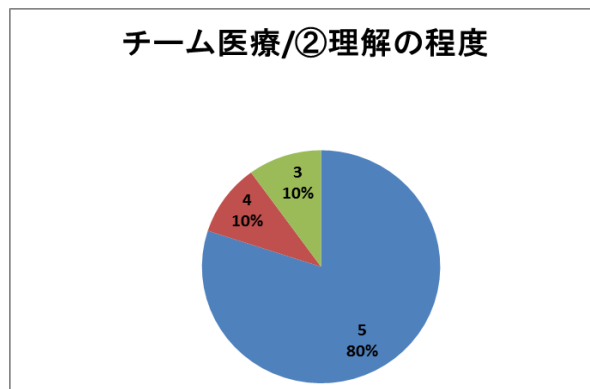
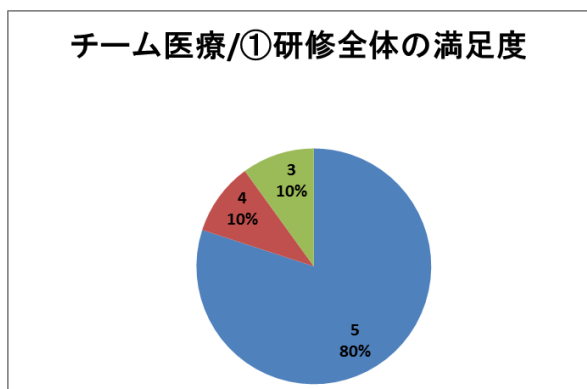
(医療保健) \* 5満足 ⇔ 1不満



(介護保険) \* 5満足 ⇔ 1不満



(チーム医療におけるMSWの役割) \* 5満足 ⇔ 1不満



### 受講者の感想(一部抜粋)

- ・イメージ、先入観に注意しながら関わることを意識していきたいと感じました(生保)
- ・相談を受けたことがあるが何を聞いていいのかわからなかったが、学んだことを活かせばできるのかなと思った(生保)
- ・医事課まかせになっていたので勉強したことを家族へ説明できるようにしたい(医保)
- ・制度の紹介やつなげるだけでなくその背景にあることをきちんと見れるようになりたい(医保)
- ・サービスにつなぐことではなく、しっかりアセスメントして把握したうえで根拠をもって説明できるようになりたいと感じた(介保)
- ・本人の立場にたつこと、生活背景を知ること、そのうえで情報提供や制度の活用につなげることができるようにしたいと思う(介保)
- ・想いをどのように実現するか、展開させていくか考えさせられました(チーム医療)
- ・情報共有の大切さを学ぶことができた(チーム医療)
- ・必要な情報とそうでない情報は職種によって違うこと(チーム医療)
- ・想いをどのように実現するか、展開させていくか考えさせられました(チーム医

以上、簡単ではありますが研修報告です。

受講者の皆さん、講師・運営スタッフの皆さんお疲れ様でした！

---

## 社会活動部報告

### 平成30年度 県民健康フェア開催

中頭病院 秦 克之

---

8/19 日に県民健康フェアが行われました。暑い中参加者も多く、我々MSW のブースも非常に大盛況でした。

MSW クイズやおかしの掬い取りなど子どもさんや学生さんも多数参加していました。

無事成功できたのは協力して下さった皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

今回はおかしのつかみ取りでしたが次回はもう少し健康フェアらしい企画を検討せねばと感じています。

何かネタやご意見がありましたらご連絡下さい。心底心待ちにしております。

---

## 自主勉強会報告

### めだかの学校

ハートライフ病院 佐平 彩乃

---

8/22(水)豊見城中央病院で精神科病院への転院調整について、PSW の赤平幸菜氏を講師として勉強会に参加しました。

私は入職して4ヶ月経ちますが、担当したケースのなかで精神科病院へ転院の相談をした経験が無く、普段の転院相談とどのような点が異なるのか学ぶ機会になりました。

精神科病棟の種類や入院形態の知識、専門病院ではデイケア、デイナイトケアを行っていることを学びました。デイナイトケアという言葉は初めて耳にし、精神科病院の対応について理解すると共に、状態に合わせて寄り添う必要があると感じました。

また、精神科病棟への転院では生育歴の情報が重要ということで、ソーシャルワーカーが求められる力として、話を聞き、それをまとめることだと考えました。

生育歴の情報収集を行っていくうえで、患者さん本人が大切にしている価値観や考え、周囲の方との関係性を把握し、ストレングス視点で関わるのが関係性の構築につながるのだと感じました。

私は、患者さんと関わっていくなかで、ストレングスの視点を置き去りにしてしまい、課題を解決することばかりを考えてしまうことがあります。今回の勉強会に参加したことにより、まずは患者さんへ興味を持ち、その方を知りたいと思う気持ちから寄り添う支援が始まるのだと感じました。

今後、担当させていただくケースが増えていくと思いますが、患者さんへのストレングスの視点を意識して関わっていきます。

講師の赤平様、勉強会を開催して下さった方々に感謝申し上げます。

---

## 自主勉強会報告

### めだかの放課後 ～ 経験 5 年以上の奮闘記 ～

大浜第一病院 医療福祉課 嘉手納 泉也

---

めだかの放課後とは、経験 5 年以上の会員が自主的に毎月集まる機会のことをいいます。

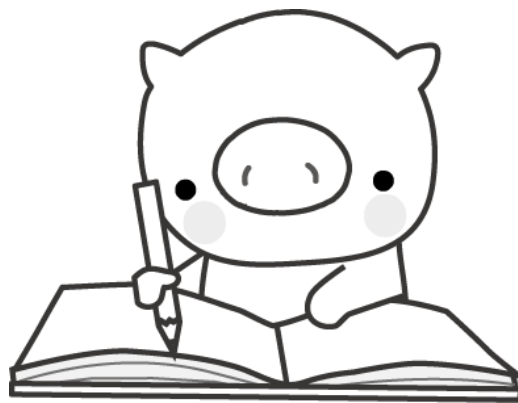
内容は主に、①興味のある分野の小さな勉強会、②県内外の研修報告、③協会事業の運営、④近隣地域や院内の現状と課題の確認などがあります。

堅苦しい感じではなく、思っていることや考えていることを自由に話して共感したり情報交換をしたりするので、参加者はみんなフレンドリーです。ストレスが溜まっている場合には、すべてを吐き出して浄化できるので、会が終わる頃には心が清々しくなります。

今回は、「県民健康フェアの運用」をテーマに 7 月 26 日(木) 19 時から沖縄市にある中頭病院の会議室で 2 時間ほど行いました。参加者は秦さん(中頭病院)、安慶名さん(大浜第二病院)、當銘さん(大浜第一病院)と私の 4 人でした。毎月 6～8 名で行っていますが、この日は色々な会議や家庭の事情が重なってか集まりがまばらとなりました。例年通り、社会福祉クイズの見直し、解答後のお菓子の検討、会員への参加の声かけや準備の流れなどを確認しました。

テーマは毎回違いますが、6 月はある地域の介護認定申請について医療機関側で困っていることを共有し、アンケート結果をもとに行政へのソーシャルアクションについて話し合いました。活発な議論が行われ、地域ごとで制度の理解や行政の反応が違うことを学びました。

めだかの放課後の参加費は無料です。事前の申し込みはありません。毎月第 4 木曜日の 19 時から中頭病院でありますので、興味がある方はぜひご参加ください。





## 自主勉強会開催のお知らせ

### めだかの学校(おおむね経験年数3年未満)

テーマ	介護老人保健施設について ~介護報酬改定のポイント~ 介護老人保健施設 若松苑 支援相談員 山城正明 氏
日時	H30年9月19日(水) 19:00~
会場	北中城若松病院 3F講堂
参加費	無料
問い合わせ	大浜第二病院 医療福祉課 謝敷

### めだかのホームルーム(おおむね経験年数3年以上)

テーマ	スーパービジョン
日時	H30年9月5日(水) 19:00~
会場	中頭病院
参加費	無料(飲食代100円)
問い合わせ	沖縄協同病院 地域連携課 松永

### めだかの放課後(経験年数5年以上)

テーマ	未定
日時	H30年9月20日(木) 19:00~
会場	中頭病院
参加費	無料(飲食代200円)
問い合わせ	大浜第二病院 医療福祉課 當銘

### OCSV

テーマ	未定 ※後日、連絡とする
日時	H30年9月12日(水) 18:30~
会場	那覇市立病院
参加費	無料
問い合わせ	那覇市立病院 樋口

---

## 新入会員紹介

友愛会 南部病院 地域連携室 平田 真珠美

---

5月に友愛会 南部病院へ入職しました平田真珠美です。前職では児童福祉に関わる仕事をしていたので、病院での勤務は初めてで、何もわからない時期に職場の先輩に薦められ初任者オリエンテーションに参加しました。

新卒の方も多く参加されていましたが、業務内容などを意見交換していく中で、みんな慣れない職場で頑張っているのかとパワーをもらう事ができました。今後は研修にできるだけ参加して、先輩方から多くの事を学びたいと思いますので、よろしくお願いします。

---

## 新入会員紹介

小禄病院 地域医療部 医療相談室 眞栄城 怜未

---

こんにちは。4月より小禄病院へ入職致しました。眞栄城怜未(マエシロ サトミ)と申します。昨年度は、中部地区の役所で保護課のケースワーカーとして働いておりました。小禄病院へ入職して約4か月経ち、知識量の無さや容量の悪さから気持ちが落ちてしまう日々もありますが、素敵な上司や先輩、病院スタッフがいるだけでなく、患者様からの「ありがとう」の言葉や笑顔を頂ける日もあり、とてもやりがいのあるお仕事だと感じております。

まだまだソーシャルワーカー歴も浅い未熟者ですが、先輩方やMSW協会の会員の皆様のお力も借りながら、地域で暮らす人々の生活に寄り添えられるソーシャルワーカーを目指し、研鑽を怠らず日々精進してまいりたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。

## 平成30年8月 理事会議事録

開催日時	2018(平成30)年8月20日(月)18:30-21:00
場 所	総合福祉センター
出席者	島袋、樋口(司会)、當銘、伊禮(記録)、石郷岡(連絡)、新垣、安慶名、秦

### 【各部報告】

(研修部)

・めだかの学校

→9/19(水)19:00 場所:北中城若松病院3F講堂

テーマ:介護老人保健施設について～介護報酬改定ポイント～ 講師:山城氏(若松苑)※  
事例今年度1～2出せるように検討中。

・めだかのホームルーム

→9/5(水)19:00 場所:中頭病院

テーマ:スーパービジョン

・めだかの放課後

→9/20(水)19:00 場所:中頭病院

テーマ:ちゃーがんじゅう課との意見交換会

・OGSV

→9/12(水)19:00 場所:那覇市立病院

テーマ:事例検討

南部地区医師会研修・南風原町・望月講演予演会

・今年度の初任者研修終了

→1回目21名、2回目22名、3回目16名。アンケート集計をニュースに掲載予定。

・九州医療ソーシャルワーカー協議会中堅者研修

日時:H30/11/25(日)10:00~15:00(受付9:00)

場所:那覇市立病院

テーマ:「ソーシャルワークによる退院における実践の自己評価(中堅者編)」

参加費:3000円

(広報部)9月のニュース担当は沖縄協同病院・鶴渕さん

デザイン事業についてホームページへアップ予定

(社活部)

・県民健康フェア8/19(日)終了

→200名分のクイズ終了した。景品を駄菓子から、健康を意識した景品へ検討予定。各職種の学生の参加が多かった。

【ちゃーがんじゅう課との意見交換会】

- ・三か月に一度、定期的に意見交換会持つことになった。
- ・医療、介護の連携の中に、今まで窓口となる行政が置いてけぼりだった。目的は同じ、「住民の利益につながるように」意見交換していく。
- ・医療者側でとったアンケート集計をお渡しした。
- ・介護保険認定調査の連絡を紙面で案内→運用開始している。
- ・包括⇄窓口で連絡票を運用予定。介護保険と総合事業の申請がスムーズになることが目的。
- ・医療側からの連絡票も今後取り組んでいきたい。(これがないと申請を受け付けられないような、原則にはしない)
- ・PSW協会の意見も取り入れ医療側からの連絡票作成を共同作業できないか、呼びかけを検討。
- ・PSW協会代表者も呼びかけを検討。

・次回は 10/18(木)9:30 予定。医療側の連絡票の内容と、ちゃーがんじゅう課の困りごとを確認予定。

#### 【九州おきなわ大会実行委員会】

- ・広告集め開始。依頼 200 件ほど発送済み。予算を割らないよう、各業者へ呼びかけ中。
- ・九州SW協議会より 10 万、大会運営費あり。
- ・抄録、すべての原稿は 9 月末に締め切り予定。
- ・参加申し込みも各県へ発送済み。ホームページにも掲載済み。
- ・後援の承諾も約半数返事あり。
- ・250 名参加見込み。
- ・印刷業者(アカネクリエイション)で予算抑えられるよう調整予定。別業者(国際印刷・マルマサ印刷等)と、相見積とる予定。
- ・昼食弁当も、試食・相見積予定。

#### 【沖縄県ソーシャルワーク協議会 4 団体】

- ・全国ソーシャルワーク協会は、新しい倫理綱領(世界版)を日本語で書き換え作業中。
- ・県ソーシャルワーク学会の実行委員  
(知花クリニック・宮城さん、中頭病院・平安さん、中部協同病院・島袋さん)

#### 【入退院支援デザイン事業】

- ・南部地区医師会から、各市町村での研修会で講演依頼あり。樋口・安慶名・望月対応。

#### 【多職種研修企画】

日時: H30/9/22(土) 13:30~17:00

場所: 沖縄県教員共済会館八汐荘 4階中会議室

テーマ: 地域住民への普及啓発~ACPIについて~

講演①「医療機関における地域包括ケアシステム構築の実践事例」

岡村 紀宏氏

講演②「市町村(医師会)における地域包括ケアシステム構築の実践事例」

黒木 信之氏

#### 【ハンセン病回復者支援について】

- ・H31 年度に沖縄県に在宅医療と介護のコーディネーター事業を開始予定。厚労省より聞き取りあり。

#### 【沖縄県福祉サービス適正委員会参加について】

- ・沖縄協同病院・新垣参加  
四団体として意見をあげた。施設への苦情の確認。事業報告あり。

#### 【事務局より】

・事業費の会計ソフト購入。今年度分から活用。

#### 【その他】

- ・浦添市介護支援専門員事例研修会へ会長が参加した。
- ・地域ケア会議は、沖縄県リハビリテーション専門職協会が事業委託の中で運用している。研修会開催予定あり。
- ・沖縄県感染症診療ネットワーク事業のコーディネーター・琉大附属病院 金崎さん就任。

次回理事会 9月18日(火)司会:當銘、書記:望月、連絡:香村

#### ☆編集後記☆

沖縄の夏は9月までと思っています。まだまだ夏は終わらない！ えんじょい the ばかんす！！  
みなさま、適度な休暇をはさみつつ、お仕事がんばりましょう。(・v・)ノ

さて、統一地方議員選挙、そして知事選挙がせまっております。人々の生活の根幹を決めるのは政治、そしてその政治を決めるのは私たち有権者です。未来に向かって悔いがないよう、政治家、社会を選んでいきましょう。



沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 ホームページ

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

